

横浜市立横浜吉田中学校 令和3年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
学びを通して 共生 共感 創造 を育みます	〈自分づくりに関する力〉

(2) 中期取組目標

中期取組目標
魅力ある「私の学校・私の町おらが学校」となる横浜吉田中学校を目指します。 ○本校の教育環境を生かしたグローバル人材育成の教育をすすめます。 ○新学習指導要領に基づく教育課程の改善をすすめます。 ○外国につながる生徒の指導を含め一人ひとりの実態を把握し、共通理解のもと組織で動く生徒指導をすすめます。 ○校内環境整備を大切にし、落ち着いた環境づくりをすすめます。○地域・社会との連携を大切にし、オール横浜で創る教育をすすめます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
健やかな体	① 「早寝・早起き・朝ご飯」を合い言葉に規則正しい生活をする姿勢を培う。 ② 学校保健委員会・PTA成人保健委員会・保健だよりを通じて、生徒及び家庭への健康に関する啓発活動を実施する。 ③ 保健体育の授業、体育祭、学校行事を通して運動する楽しさを感じられるよう指導する。
担当	保健安全指導部

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・スポーツテストの結果（令和元年度）は、全国平均や横浜市平均と比べると、全体的に低い傾向にある。
- ・朝食の摂取率は80%前後であるが、コンビニの利用が多く偏食の傾向がある。
- ・保健室の利用状況は、個人によって差があるが、生活習慣のアドバイスは必要である。
- ・運動習慣に乏しく、数少ない運動経験も限られた種目によるものが多い。

(2) 体力の概要と要因の分析

- ・新体力テストの結果から、ほとんどの項目が全国平均、市平均を下回る記録が出ている。体格は良いのだが、運動能力が低い。運動経験の少なさが影響しているものと思われる。
- テレビ、ゲーム、PC、スマートフォンの使用時間が長く、就寝時間が遅い傾向にある。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《保健体育科での取組》

- ・保健体育科では、「する」「見る」「支える」など多様な関わり方があることを知り、運動への意欲の向上を図る。
- ・課題解決に向けて学び合う姿勢を推進し、運動に親しむ習慣を育成する。
- ・保健授業を通し、健康に対する知識・理解を深め、健康の増進と体力の向上を図る。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食事・運動・休養の3つの視点から健康維持・増進を実践できるように取り組む。

特別活動・総合的な学習の時間

- ・体育祭実行委員会を中心に体育祭を企画・運営し、生徒の体育的行事への参加意欲を高める。
- ・食育教育を推進し、生徒の食習慣改善を図る。
- ・保健委員会では、学校保健委員会を開催し、健康に望ましい生活習慣やICT機器の利用の仕方について、望ましい行動選択の啓蒙活動を展開する。
- ・安全教育では、自他の安全に配慮して行動するための思考・判断力を育むとともに、地域社会の一員としての自覚を高め、地域の力となって行動できる体力と態度を育む。

課外活動

- ・部活動の推進
- ・体育・健康に関する職員研修の充実
- ・「健康手帳」を活用して体育・健康に関する情報を家庭と共有

令和3年度 横浜吉田中学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 昼休みを活用した校庭や体育館でのボール運動の推進

《ねらい》 運動機会の確保

《内容》 生徒会などが企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。

- 指 標 : 参加回数や参加率などから検証する。
新体力テストデータ
アンケート等による運動意識への変化